

こいわたけみのりほぜんかい

小岩嶽水農里保全会（安曇野市）

・組織の活動面積	A= 18.08 ha
・組織の構成員数	約 60 人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 □
取組開始年度	平成25年～	—	—

構成員	小岩嶽区の農家および非農家、自治会、青少年育成会、天満沢水利組合
-----	----------------------------------

○組織の概要

当組織のある小岩嶽区は安曇野市の北西部に位置し、北アルプス山麓から流れる富士尾沢、天満沢川が農地を支え、塩の道や戦国時代の城址など歴史とロマンあふれる里山文化を形成しています。戸数は約100戸、うち農家戸数25戸の小規模集落で18haの農地を保有しています。近年、農業従事者の減少と高齢化、更に猿害が慢性化する中で、耕作放棄地や遊休農地が増加傾向にあります。山里の景観は区民の共有財産としてとらえ、将来にわたり継承してゆくため、農家・非農家の枠を超え主旨に賛同する多くの区民と関係団体が構成員となって組織を立ち上げ、用水路および農地の保全活動に取り組んでいます。今年はその初年度として活動を開始しました。

ご近所パワーで里山の景観を守ろう



夏草や低木の生い茂るジャングル畑が刈払い機の鳴り響くなかで徐々に元の姿を取り戻してきた。
大きくなったニセアカシアが仲間の手で切り倒された。



用水路を監視する役員

富士尾沢用水、天満沢用水、寺堰用水が我々の守備範囲（開水路5.5km）



今日は長年耕作放棄された畑をご近所パワーで農地復活をめざす。
いざ出陣！（9/29）



目地補修技術の研修会で実習（10/31）

来年はこの畑に何を播こうか！
子供たちと一緒に山野草やれんげ、菜の花・・・あれこれとアイデアを募集中。

三九郎行事にも使われるこの場所が景観形成活動などを通じ地域の交流の場所となることを願っている。



バックホーンで木の株やスキの根をこぐ。
これもご近所パワーのなせる業。
感謝 感謝！

